



日本・ロシア 難病に関する共同研究プロジェクト
2018年度（平成30年度）審査結果

2018年4月26日

一般財団法人難病治療研究振興財団

一般財団法人難病治療研究振興財団（Japan Medical Research Foundation, 以下 JMRF）とロシア基礎科学財団（Russian Foundation for Basic Research, 以下 RFBR）との間で締結された難病研究事業に関する協力の合意に基づき、2018年度（平成30年度）の「日本・ロシア 難病に関する共同研究プロジェクト」を募集しておりました。応募のあった7件について JMRF 及び RFBR の審査委員会において審査基準に従って其々審査し、意見交換を行った結果、2018年度は下記の3件のプロジェクトを採用することに決定しましたので報告いたします。採用されたプロジェクトには、JMRF 及び RFBR の基準に基づき研究助成が行われます。

記

【プロジェクト1】

研究課題： ロシアにおける慢性非感染性骨髄炎（CNO）の原因遺伝子の同定と病態機序の解明

Identification of the causative gene for the chronic non-bacterial osteomyelitis (CNO) in the Russia and elucidation of its molecular pathogenesis

代表研究者： 高柳 広（東京大学大学院医学系研究科 病因・病理学専攻 免疫学講座 免疫学・教授）

Mikhail Kostik（Hospital Pediatrics Department, Saint-Petersburg State Pediatric Medical University・Professor）

【プロジェクト2】

研究課題： 抑制的ガイダンス分子 a（RGMa）を標的とする多発性硬化症治療のための核酸医薬の開発

Nucleic Acid Therapeutics for Multiple Sclerosis Targeting Repulsive Guidance Molecule-a (RGMa)

代表研究者： 藤井 政幸（近畿大学産業理工学部・教授）

Dmitry A Stetsenko（Siberian Branch of the Russian Academy of Sciences・Senior Researcher）



【プロジェクト3】

研究課題： 関節リウマチおよび痛風に対するマクロファージ再構成を介した炎症抑制機構の研究

Macrophage reprogramming for inhibition of inflammation in gout and rheumatoid arthritis

代表研究者： 中島 利博（東京医科大学医学総合研究所・教授）

Igor Malyshev（Head of the Department of Pathophysiology and Head of the Laboratory of Cell Biotechnology, Medical School at the Moscow State University of Medicine and Dentistry・Professor）

以上